

令和3年度 第1回 流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会 議事録

1 日時

令和3年5月17日 月曜日

14時00分から15時30分まで

2 方法

ZOOMによるオンライン会議

3 出席者

(1) 委員

濱田 竜也 会長、宮本 篤子 副会長、君山 敬子 委員、稲田衣子 委員、鈴木 美智子 委員、立石 八重 委員、高村 友紀 委員、楠見 洋子 委員、櫻井 壽一 委員、岩井 謙詞 委員、池上 諄一 委員、紺野 好美 委員、塩谷 節子 委員、関谷 一和 委員（全16名中14名出席）

(2) 事務局（市）

早川健康福祉部長

高齢者支援課 木村課長、君島課長補佐、武林高齢者介護予防係長、影山主任保健師、石倉保健師

介護支援課 豊田健康福祉部次長兼介護支援課長、佐々木主任主事、鈴木主事

(3) 地域包括支援センター

北部地域包括支援センター 石川 渉センター長

北部西地域包括支援センター 高橋 和美センター長

中部地域包括支援センター 土谷 しのぶセンター長

東部地域包括支援センター 崎尾 直子センター長

南部地域包括支援センター 中尾 陽子センター長

4 議題等

(1)【協議事項】会長・副会長選出、令和3年度地域包括支援センターの評価に係る委員の選出について

- ・「流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会の設置及び運営に関する要綱」の規定により、会長・副会長を選出。
- ・令和3年度地域包括支援センターの評価に係る委員について、濱田 竜也 会長、塩谷 節子委員、岩井 謙詞委員、紺野 好美委員、高村 友紀 委員、以上5名選出。

(事務局より説明)

令和3年度に実施の(評価期間：令和2年度)の評価スケジュールについては、国から通知された「地域包括支援センター運営状況調査票」を用いて、自己評価が5～6月に実施される予定。

7～8月に行うヒアリングについては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現地視察を実施せずにセンター長のヒアリングのみ実施。今回選出された5名の評価委員はヒアリングへの参加をお願いしたい。

8～9月にはヒアリングをもとに評価した結果を地域包括支援センターへフィードバックし、事業の質の向上のために必要な改善方法を検討。

10月に行う第2回運営協議会で、評価委員による「評価のまとめ」と地域包括支援センターによる改善案を報告し、承認を得た後、11月に公表といったスケジュール予定。

(委員)意見なし

(2)【報告事項】令和3年度協議会年間計画(案)について

(事務局より説明)資料3のとおり。

(委員)意見なし

(3)【報告事項】流山市地域包括支援センターの職員の変更について  
書面報告。資料4のとおり。

(委員)意見なし

【協議事項】令和2年度流山市地域包括支援センター事業実績・令和3年度事業計画について

各地域包括支援センター長より説明。資料5のとおり。

事前意見①(宮本委員)コロナ禍で各地域包括支援センターは苦

労して活動していると思う。このような状況はこれからも続いていくと考えられる。令和2年度の目標として、地域の掘り起こしと言われていたが、このような状況下では難しく、高齢者は外へ出られないし、支援したい人も出られない。チラシなどを置いても取っていくことは難しい。広報ということで、市としてホームページに地域包括支援センターの内容が具体的に掲載されているとわかりやすい。他を見ても、区域分けはあるが、具体的な内容が載っていないことが多い。その中で、例えば岡山市のホームページなどわかりやすいので、参考にしてみてもどうか。高齢者がどこにいても同じサービスを受けられるように、地域包括支援センターで統一化できるように、提案したい。

(事務局) コロナ禍において高齢者が日常生活で困難を抱えている状況は増えていることが予想され、各地域包括支援センターも創意工夫をしながら活動している。その支援を多くの方へよりわかりやすく伝える方法として、具体的な活動内容についての写真やイラストなどを入れてホームページに掲載するなど、他自治体のホームページも参考にしながら工夫し、検討していきたい。

事前意見②(紺野委員)

コロナ禍で機能低下している人達がたくさんいて、孤立している人も増加傾向にあると考えられるが、支援はどのようにしていくのか。

(中部地域包括支援センター 土谷センター長)

令和2年度当初は、感染対策として接触を出来るだけ減らし、アンケート・広報チラシなどによる実態把握・情報発信に偏っていた。その間も民生委員から見守り対象の方の状態変化を共有し、医療に繋ぐケースなどが発生している。今年度は3密を避けて、マスク・手指消毒・目の保護をしての対策を取りながら、民生委員と対面の情報共有の会を行い、情報共有・相談しやすい関係づくりに取り組んでいく。東部地域包括支援センターの報告にもありましたように、小さい集団に働きかけ、そこから友人などの情報を得るなどの工夫を行っていきたいと考えている。また、感染対策を取りながら、自治会・サークル活動などを再開していけるように情報発信をしていきたいと考えている。

事前意見③（紺野委員）

ケアマネ交流会をZOOM等で行った所が多いが、横の連携も必要だと思うので、年間の回数はそのままで人員制限して実施することはできないか。

（南部地域包括支援センター 中尾センター長）

南部地域包括支援センターでは、令和2年度はアンケートを2回実施、2回ZOOMで開催した。ZOOMは移動が無い為の時間短縮や感染対策のメリットはあるが、意見交換が十分に行えないことや、会、開始前終了後のちょっとした挨拶を含めた雑談などでコミュニケーションや情報交換が出来ないことがデメリットと感じている。今年度、ZOOM開催し、令和3年度の介護保険改正について、契約書の取り直しをどの様な書式で行ったかの運営規定等を、居宅ごとに言ってもらった。皆、試行錯誤しながら取り組んでいることが分かったが、それ以上の話には繋がらなかった。契約書や運営規定等を実際に持ち寄り、話が出来る場面を作っていきたいと考えている。具体的な手法は、ケアマネジャーに相談しながら決めていきたい。また、ZOOMで開催の参加人数についても出来るだけ多くに人が参加できるようにしていきたいと思う。

（4）【協議事項】指定地域密着型サービス事業所の指定更新について

（事務局より説明）資料6のとおり。

事前意見①（宮本委員）施設①ひれがさきデイサービスリハビリセンターにおける複写物100円とはどのようなものを示すのか。包帯代とは。

（事務局）複写物は、個人的なものをコピーしてほしいという場合。包帯代は、めったにないが、汚れている場合に、本人の同意の上、交換した際に発生する。

事前意見②（櫻井委員）老人増加とはいえ、介護士不足と聞いている。介護施設への指導等を頑張ってほしい。

事前意見③（紺野委員）コロナ禍の中、実地訪問は出来ないが、収束したら必ず訪問してください。書面や電話では、わからない所がでてくるかもしれませんので。

（事務局）今後、感染症の収束状況を勘案し、収束したら、必ず実地訪問を行いたいと考えている。

#### 4 その他

次回の運営協議会は、令和3年10月27日（水）午後2時から市役所第2庁舎301・302会議室にて開催予定。新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、ZOOMによるオンライン開催となる場合がある。